

令和3年4月12日

報道機関 各位

まちなか授業 in グランドプラザ

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科では、2018年の学部・学科開設以来、「地域とともに学ぶ」ことの一環として、当学科の1年生を対象とした必修科目「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を、富山市の中心市街地のグランドプラザでオープン・クラスとして実施してきました。昨年は新型コロナの影響により不開講（学内のみを対象としたオンライン授業）となりましたが、今年は再びグランドプラザで開講する予定です。

講義には、都市・交通デザイン学科の教員以外に、社会の第一線で活躍するゲストも登壇します。また、最終回の7月30日（金）には、学生による成果発表も行います。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

- 科目名：都市と交通を支える建設技術の基礎知識
- 講義場所：グランドプラザ
〒930-0083 富山県富山市総曲輪三丁目8番39号
- 講義スケジュール
別紙参照（※なお、内容は一部変更する場合があります。）

【本件に関する問合せ先】
富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科
教授 久保田 善明
電話：076-445-6283



富山大学



グラウンドブリッジに戻ってきましょう！

まちなか授業

2021年度

授業科目「都市・交通をデザインする建設技術の基礎知識」
富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科

講義タイトル

日時

講師

第1回	この街で都市・交通デザインを学ぼう	4/16 (金)	13:00~14:30	中川大教授・学科全教員
第2回	構造デザインの世界	4/23 (金)	13:00~14:30	久保田善明教授
第3回	地盤を知らなきゃ、なんにもできないって知ってる？	4/30 (金)	13:00~14:30	原隆史教授
第4回	コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築	5/7 (金)	13:00~14:30	森雅志氏 〈富山市長〉
第5回	水のながれの不思議から考える安全で快適な街づくり	5/14 (金)	13:00~14:30	木村一郎教授
第6回	まちの見方・調べ方 - 富山の都心部を中心に -	5/21 (金)	13:00~14:30	西村幸夫氏 〈國學院大學教授・東京大学名誉教授〉
第7回	まちなか広場のある、まち	5/28 (金)	13:00~14:30	山下裕子氏 〈広場ニスト〉
第8回	わが国防災遺産の系譜と立山砂防	6/4 (金)	13:00~14:30	北河大次郎氏 〈文化庁〉
第9回	富山のまちは如何にして守られたか - 治水からのアプローチ	6/11 (金)	13:00~14:30	成瀬龍也氏 〈富山県立山カルデラ砂防博物館長〉
第10回	学生によるフィールド実習 公開プレゼンテーション	7/30 (金)	13:00~14:30	

【講師紹介】

中川 大 (4/16(金)) ※同日は、都市・交通デザイン学科の17名の教員による2分間ショートプレゼンも実施します。

京都大学大学院修士課程修了。工学博士。建設省、国土庁、東京工業大学を経て、京都大学助手・助教授・教授。2017年より富山大学副学長・教授(2018年より都市デザイン学部教授)。京都大学名誉教授。小学校から高校まで富山県で暮らす。富山ライトレールなど各地の公共交通プロジェクトに多数参画。交通整備財源の国際比較の研究等も行う。

久保田 善明 (4/23(金))

京都大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。株式会社IHI、株式会社オリエンタルコンサルタンツを経て、京都大学経営管理大学院准教授、同大学大学院工学研究科准教授、2016年より富山大学教授(2018年より都市デザイン学部教授)。現在は、国内では今世紀最大の架橋プロジェクトと言われる大阪湾岸道路西伸部(14.5km)の設計に中心的に関わる。富山市でも富山市都市計画審議会副会長など多数の委員を務めている。

原 隆史 (4/30(金))

群馬大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。東鉄工業株式会社、株式会社建設技術研究所を経て、岐阜大学寄附講座職員(准教授相当)、工学部特任教授、2016年より富山大学教授(2018年より都市デザイン学部教授)。学・協会等の委員会活動、中央や地域での外部講師など社会貢献活動多数。現在は主に国や国の外郭団体、中央や地域の民間企業とともに、新技術の開発、設計・維持管理手法などに関する共同研究を実施している。

森 雅志 (5/7(金))

富山県出身。富山中部高校・中央大学法学部卒業。司法書士・行政書士事務所開設後、富山県議会議員を経て、2002年より連続4期、富山市長を務める。公共交通を軸としたコンパクトシティ政策を推進し、LRTの整備、南北接続などの牽引役を果たした。地方分権改革有識者会議議員、パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定に向けた懇談会委員、全国市長会副会長など歴任。2019年OECDチャンピオン・メイヤーズに選出。

木村 一郎 (5/14(金))

京都大学大学院修士課程修了。博士(工学)。日本道路公団、国立和歌山工業高等専門学校、四日市大学、国立松江工業高等専門学校、オランダ王国デルフト工科大学客員研究員、北海道大学を経て、2018年より富山大学都市デザイン学部教授。専門は水理学、水工学、河川工学で、環境、防災・減災等の多彩な視点で研究を進めている。著書に、『水理公式集(2018年版)』(共著)、『流水型ダム』(共著)、『環境学総論』(共著)など。

西村 幸夫 (5/21(金))

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。東京大学工学部都市工学科教授、東京大学先端科学技術研究センター長などを歴任後、2011年東京大学副学長。他にアジア工科大学、マサチューセッツ工科大学(MIT)、コロンビア大学、フランス社会科学高等研究院等でも客員教授等を歴任。その後、神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究機構長・教授を経て、現在は國學院大學教授。著書に『県都物語』など多数。

山下 裕子 (5/28(金))

富山にて演劇やアート関連イベントの企画制作に携わった後、グランドプラザ運営事務所、株式会社まちづくりとやまを経て、2014年より「広場ニスト」として独立。その後、豊田・久留米・明石・神戸をはじめとする全国のまちなか広場づくりに関わる。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ -稼働率100%の公共空間のつくり方』など。全国まちなか広場研究会理事、NPO法人GPネットワーク理事。

北河 大次郎 (6/4(金))

東京大学工学部土木工学科卒業。フランスのエコール・ナショナル・デ・ポンゼシヨセ博士課程修了。博士(国土整備・都市計画)。文化庁入庁。イタリアのICCRUM(文化財保存修復研究国際センター)、東京文化財研究所を経て、現在、文化庁勤務。土木学会オンライン土木博物館「ドボ博」館長。著書に『近代都市パリの誕生』(サントリー学芸賞、交通図書賞)、『図説近代日本土木史』(共著)など。

成瀬 龍也 (6/11(金))

富山県出身。富山中部高校・東京工業大学工学部土木工学科卒業。富山県職員として、おもに港湾行政(伏木富山港港湾計画)や航空行政(富山空港の国際化)に携わり、土木部港湾空港課長、建設技術企画課長、企業局次長などを歴任後、株式会社パスコ富山支店技師長に就任。現在は、富山県立山カルデラ砂防博物館館長。著書に『暴れ川と生きる 河川編』など。“とやま”川の会世話人、NPO法人富山県砂防ボランティア協会所属。